



## どのような未来を目指すための事業か

災害時にも機能する強靱な道路ネットワークを構築するため

### 電線を地中化して 電柱を撤去します

### 地元の声

- ・災害時に電柱が道をふさがないようにしてほしい。（地元住民）
- ・段差（マウンドアップ）や路面が滑りやすい舗装材料であるため危険である。（地元住民）

#### 事業前

- ◆電柱があるため、災害時に電柱が倒壊し、道路が寸断されるおそれがあります。



事業前の状況

#### 事業後

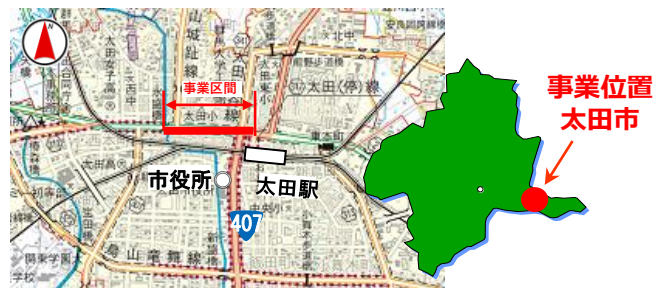
- ◆道路上の電柱が無くなり、災害時の安全な通行が確保されます。



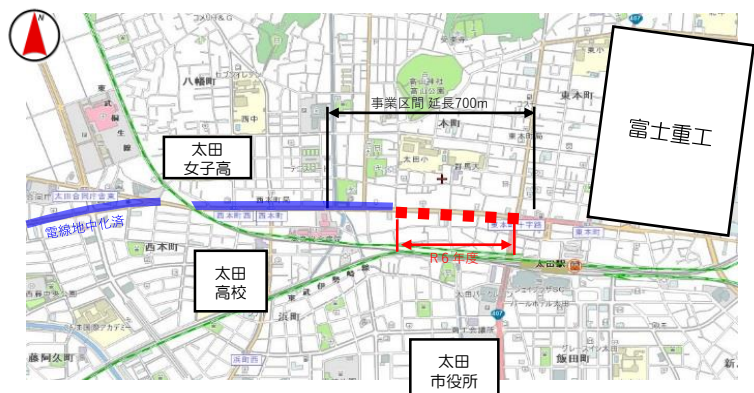
事業後のイメージ（一例）

#### 事業の概要

- 事業箇所：太田市本町
- 事業内容：電線共同溝整備 延長1,400m
- 事業期間：平成27年度～



## 事業の進捗状況（令和6年3月末現在）



#### 今、何をしているか

令和6年度は、引き続き、電線共同溝の管路工事を進めます。



#### 事業のすすみ具合

